

2人に1人が がんに

がん検診の受診を

日本人の約2人に1人がかかるといわれる「がん」は、あなたにとって他人事ではありません。早期発見・治療を行えば元気に暮らし続けることが可能ですので、定期的な検診が重要です。自分自身の健康を守るため、幸せな未来のため、ぜひ「がん検診」に行きましょう※がんを防ぐ生活習慣を、5面コラム「健康豆知識 からだにいい話」に掲載しています。

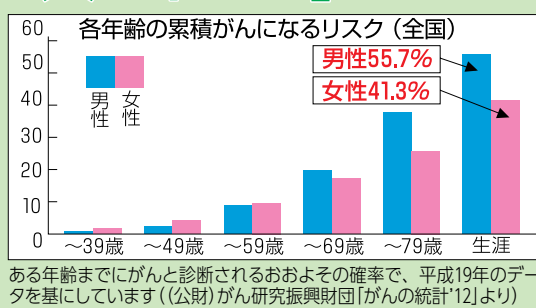


早期発見・治療で健康を守ろう

▲「自分は元気！」だからこそ、定期的な検診が大切です(胃がん検診の検診車内で)

2人に1人が「がん」に

「がん」は、体の中で複数の遺伝子が増え、がん細胞が増える病気で、年齢を重ねるごとに発症率が高まります。日本人の生涯で見ると、ほぼ2人に1人が「がん」になると言われています。



区民の死亡数の 3分の1が「がん」

江東区では、平成23年度に1,180人の方が「がん」で亡くなっています。全死亡数の33.3%で、実に3人に1人が「がん」で亡くなっていることになります。

江東区の平成23年度死因割合

順位	死因	割合
1	悪性新生物(がん)	33.3%
2	心疾患(高血圧性を除く)	13.5%
3	脳血管疾患	9.9%

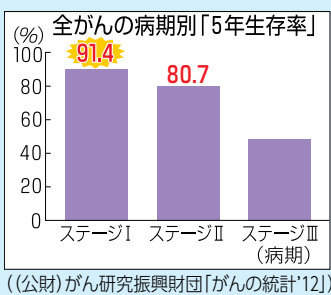
受診者の声

検診を受け、異常なしでホッとしています。予防の大切さについて、1人ひとりの意識がもっと高くなればよいと思います。(40歳代女性)



早期発見が大切

「がん」は、早期がんで発見すれば、ほぼ完治します(下表)。初期段階で適切な治療をすれば、多くの方が元気に暮らし続けることができますので、何よりも早期発見が大切です。しかし、がんは進行するまで、ほとんど自覚症状がありません。そのため、早期のがんを見つける「がん検診」の定期的な受診が非常に重要です。※病期(ステージ):がんの進行の程度を判定するための基準



受診者の声

初めて検診を受け、がんの診断でした。早期発見だったので、命を助けられました。若い人たちも検診を受けた方がいいと思います。(20歳代女性)



あなたも受けよう「がん検診」

区では、平成26年2/20(木)まで下記の検診を区内実施医療機関で実施(胃がん・肺がん検診を除く)しています。胃がん・肺がん検診を除く各がん検診受診対象の方には、6月中旬に受診券(がん検診推進事業対象の方はクーポン券)を送付しています。転入した方や受診券を紛失した方は、ご連絡ください。※胃がん・肺がん検診は申込制です。詳細は区ホームページまたはお問い合わせください。☎ 保健所健康推進課健康づくり係 ☎ 3647-9487、FAX3615-7171



▲医師の説明で不安も解消

検診名	胃がん	肺がん	大腸がん
対象者	35歳以上の区民	40歳以上の区民	40歳以上の区民
検査内容	胃部エックス線検査(バリウム使用)	胸部エックス線検査・喀痰検査(該当者のみ)	便潜血検査
自己負担金	500円	800円	500円
検診名	子宮頸がん	乳がん	前立腺がん
対象者	20歳以上の偶数年齢の女性区民	40歳以上の偶数年齢の女性区民	55・60・65歳の男性区民
検査内容	内診・視診・子宮頸部細胞診	視触診・マンモグラフィ	血液検査(PSA検査)
自己負担金	600円	1,000円	500円

受診者の声

待ち時間も少なく、思っていたより簡単に受診でき、検診にかかる時間もアツという間でした。(40歳代男性)



がん以外の病気が見つかりました。自覚症状は全くなかった。検診がなければ気づきませんでした。(50歳代男性)